

田代峠航空自衛隊慰霊碑奉仕活動が行われました

最上町自衛隊家族会は、田代峠にある航空自衛隊慰霊碑の清掃奉仕活動を行っています。この慰霊碑は、1968年1月17日に当地で殉職された航空自衛隊松島基地所属の紙西一等空尉を追悼するために建立されたものです。

今年の活動は8月8日に実施されました。隊友会鶴岡田川支部の方々も参加し、暑い中ではありましたが、碑の周辺環境整備、献花、黙祷を行い、殉職された隊員のご冥福を心よりお祈りしました。

ご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。



会長 渡部 浩栄 (月楯)

農業委員会からのお知らせ

6月25日の農業委員会総会において新たな農業委員会会長が選任されましたのでお知らせします。任期は令和8年7月19日までです。

農地に関する相談は農業委員会
(43-2017) までお寄せください。

赤倉さいだー フォトコンテスト

「赤倉さいだー」の発売を記念して、フォトコンテストを実施しています。皆様の力作、秀作をお待ちしています。ご応募はデータでお送りください。詳しくは下記を参照してください。



応募条件

①「赤倉さいだー」の商品が写っている写真であること。②「赤倉さいだー」の商品名が写っている写真であること。③赤倉温泉や最上町内で撮影された写真であること（撮影場所を明記してください）【①②③全ての要件を満たすこと】

応募期間 令和7年7月1日～11月30日(23:59)

入賞作品

優勝者には副賞として赤倉温泉で使える**宿泊補助券 20,000 円分**を贈呈

優秀作品3名様に**産直品 1,000 円相当**をプレゼント

その他、詳細等を要項にてご確認のうえ応募してください。

フォトコンテスト
応募要項



応募用 mail
バーコード



〇お問合せ先

「おくのほそ道」赤倉ゆけむり館
担当 平社 裕一
☎0233-45-3533
応募用メールアドレス
a.yukemurikan@gmail.com



まちトピ town topic



総合的な探求の時間 最上校生が町の観光を学びました

新庄北高等学校最上校の1年生12名が、町観光ボランティアガイドから、町の観光産業について学びました。7月10日に最上町の歴史や魅力について座学で講話が行われ、7月17日に現地研修として瀬見温泉の「喜至楼館内巡り」を体験しました。生徒は400年前に建てられた山形県で一番古い旅館の歴史の深さに感銘を受け、ボランティアガイドからの興味深いお話に熱心に耳を傾けていました。



永井医院杯 グラウンドゴルフ大会が開催されました

7月18日、万騎ノ原地区グラウンドゴルフ場にて永井医院杯グラウンドゴルフ大会が開催されました。大会には男女12名の方が参加し爽やかな夏空の下、熱戦を繰り広げていました。

この大会は、永井医院の院長を務める永井俊一氏が、町民の健康増進と地域の輪を広げる機会としてほしいとの思いから開催されているものです。参加した方々からは、「来年以降もグラウンドゴルフを楽しみながら、地域の絆を大切に、永井先生に感謝し大会を継続していきたい。」と話してくれました。

杉ノ入沢川上流付近で イワナの放流が行われました

7月23日、向町小1年の児童が、萱場地区の杉ノ入沢川上流付近でイワナの稚魚の放流を行いました。この取り組みは最上小国川漁業協同組合と萱場地区の方々が合同で、町の子どもたちに河川美化や、イワナの生態について学んでもらうために行われました。

子どもたちは貴重な体験に目を輝かせ「大きくなってね」と願いを込め、放流を行いました。



夏の安全町民運動出発式と 街頭啓発活動が行われました

7月24日、交通安全協会、交通安全母の会、防犯協会、青少年育成町民会議の皆さんが、役場駐車場を会場に、安全で安心な町づくりを目指す、夏の安全町民運動の出発式を行いました。続けて、町内スーパー・ドラッグストアを会場に街頭啓発活動を行い、交通安全や防犯の声かけとともに、啓発用品の配布を行いました。



こんなイベントがありました！

8/14

盆の市(向町)



8/16 「モ」のテーマで紡ぐ思い～最上町二十歳の集い～



8/15 毎年恒例の「前森高原サマーフェスティバル」大盛況！県内外から来場者！



8月15日、前森高原で行われたサマーフェスティバルは、お盆に帰省した方々が来場し大盛況でした。特に、鮎のつかみ取りは大人気。自分で捕まえた魚を、自分で焼いて食べる体験ができるのが、このイベントの醍醐味です。

毎年恒例の盆の市には、町内外から多くの方々が来場し大変賑わっていました。今年度は暑さ対策として、ステージやアトラクションに関しては中央公民館大ホールで行われました。夏の風物詩と言えば盆踊り。踊ってくれた子どもたちの爽やかな浴衣姿が、盆の市を彩ってくれました。



8月16日(土)、中央公民館大ホールにて、最上町「二十歳の集い」が執り行われました。式典には対象者83名のうち63名が参加し、久しぶりに再会した友人や中学校の恩師たちと、思い出話を花を咲かせました。

今年度のテーマは「モ」。最上の二十歳について。この「モ」には三つの意味が込められています。一つ目は、最上の「モ」。二つ目は、もともともつとという欲張りな気持ちの「モ」。三つ目は、もがきながらも進むという等身大の姿の「モ」。これらの思いがテーマに込められました。

式典では実行委員長の五十嵐悠人さんが「今までの経験に感謝し、もつと良い未来へと踏み出す第一歩になることを願っています」と挨拶を述べました。

また、高橋町長からは「後悔することがないよう、失敗を恐れず、大いにチャレンジしていただきたい」とお祝いの言葉が贈られました。

第2部の記念講話では、中学3年当時の恩師から教え子に向けたメッセージが贈られ、当時を振り返り大いに盛り上がりました。

この度、二十歳を迎えられた皆様、誠におめでとうございませう。愛郷心あふれる皆様の未来が希望に満ちたものとなりますよう、今後のご活躍を心からお祈り申し上げます。